

第七十五回帝國議會 金華山軌道株式會社及朝倉軌道株式會社所屬軌道ノ營業廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案 委員會會議錄(速記)第二回

付託議案
金華山軌道株式會社及朝倉軌道株式會社所屬軌道ノ營業廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)(第七十九號)
自動車交通事業法中改正法律案(政府提出)(第八四號)

會議

昭和十五年三月五日(火曜日)午前十時五十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 名川 侃市君

理事山田 清君 理事小泉 純也君

理事小平 重吉君 理事田中 好君

小山倉之助君 村松 久義君

木原 七郎君 愛野時一郎君

山田 順策君 羽田武嗣郎君

本田 義成君 伊東 岩男君

淺沼稻次郎君 小山 亮君

出席國務大臣左ノ如シ

鐵道大臣 松野 鶴平君

出席政府委員左ノ如シ

鐵道政務次官 宮澤 裕君

鐵道參與官 大島 寅吉君

鐵道省監督局長 鈴木 清秀君

鐵道省運輸局長 長崎惣之助君

鐵道省建設局長 堀越 清六君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

金華山軌道株式會社及朝倉軌道株式會社所屬軌道ノ營業廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
自動車交通事業法中改正法律案(政府提出)

○名川委員長 ソレデハ開會致シマス、金華山軌道及朝倉軌道ノ政府補償案ニ付テ審議ヲスルコトニ致シマス、政府ノ説明ヲ求メマス——松野鐵道大臣

○松野國務大臣 只今提案ニナリマシタ軌道ノ營業廢止補償ノ爲メ公債發行ニ關スル法律案ニ付キマシテ御説明申上ゲタイト思ヒマス、今回補償セントスル軌道ハ宮城縣ノ金華山軌道ト福岡縣ノ朝倉軌道デゴザイマス

先ヅ金華山軌道デゴザイマスガ、本軌道ハ石巻線ノ終點ノ石巻驛附近カラ女川驛附近ニ至ル軌道デゴザイマス、國有鐵道ノ女川線即チ石巻女川鐵道ハ昭和十四年十月七日開通致シマシタガ、此ノ省線ト金華山軌道トノ關係ハ全ク並行致シテ居ルヤウナ状態デゴザイマス、省線ガ敷設セラレマシタ結果ハ、從來此ノ軌道ニ依ツテ輸送サレテ居リマシタ旅客荷物ノ大部分ガ省線ニ移ルト云フコトニ相成リマシタ、隨テ會社ハ營業ヲ繼續スルコトガ出來ナイト云フ譯デ、營業廢止ノ許可ヲ申請シテ參ツタノデゴザイマス

次ハ朝倉軌道デゴザイマスガ、是ハ鹿兒島本線ノ二日市驛附近カラ杷木村ニ至ル軌道デゴザイマス、本來此ノ軌道ニ依ツテ輸送致シマス旅客荷物ハ、主トシテ省線ノ二日市方面及ビ其ノ附近ト甘木町相互間ニ發著致シマスモノヲ目的トシテ居ルノデゴザイマス、所ガ國有鐵道ノ甘木線、即チ基山、甘木間鐵道ガ本軌道ニ接近並行シテ敷設セラレマシテ、昭和十四年四月二十八日開通致シマシタ結果、從來此ノ軌道ニ依ツテ輸送サレテ居リマシタ旅客、荷物ノ大部分ガ

省線ニ移ツテ參ツタノデゴザイマス、ソレデ會社ハ營業ヲ繼續スルコトガ出來ナイト云フ譯デ營業廢止ノ許可ヲ申請シテ參ツタノデゴザイマス

以上ハ何レモ國有鐵道ガ、是等軌道ニ接近併行シテ、敷設セラレマシタ結果ニ外ナラナイト云フコトガ認メラレマス、今同其ノ營業廢止ニ因ツテ生ズル損失ヲ補償セントスル次第デゴザイマス、尙ホ補償金額ノコトデゴザイマス、是ハ先例ニ依リマシテ、所謂益金還元額ト、建設費決算額トノ合計ヲ二デ割リマシタ、其ノ金額カラ、補修費及ビ殘存物件ノ價額ヲ差引キマシタ殘額ヲ以テ補償額トスルト云フコトニ相成ツテ來ル次第デゴザイマス、何卒十分御審議ノ上御賛成アラント御願致シマス

○名川委員長 尙ホ此ノ際自動車交通事業法中改正法律案ニ付キマシテモ、政府ノ御説明ヲ承ルコトニシマス

○松野國務大臣 本案提出ノ理由ニ付キマシテハ、本會議ニ於テ大體ヲ説明申上ゲテ置キマシタガ、此ノ際尙ホ一應御説明申上ゲタイト存ジマス、自動車ニ依ツテ旅客貨物ヲ運送スル事業ガ國民生活ニ密接ナル關係ヲ有シ、又産業上極メテ重要ナ役割ヲ有シテ居リマス、コトハ申スマデモナイ所デアリマスガ、今事變勃發以來或ハ生産力擴充、物價政策、延イテハ國防強化等ノ見地カラ致シマシテ一層其ノ重要性ヲ加ヘテ參

ツタノデアリマス、然ルニ自動車運送事業界ノ現狀ヲ見マス、旅客自動車運輸事業、即チ所謂「バス」事業ニ於キマシテハ昭和八年自動車交通事業法ノ實施以來漸次整備サレテ參ツタノデアリマスガ、其ノ他ノ事業、就中貨物自動車運送事業ニ於キマシテハ、大部分ハ經營ノ基礎モ薄弱デアリ、運賃モ亂脈ニナリ勝テ、輸送ノ上カラ見マシテモ隨分不經濟ナコトガ行ハレテ居ル状態デアリマス、隨テ之ヲ助長改善シテ運賃ヲ一層適正ナラシメ、車輛ヲ整備シ、輸送力ヲ增強シテ重要輸送機關トシテノ態容ヲ整ヘルト共ニ、一面國防強化ニ役立タシムルコトハ極メテ緊要ノコトト信ズルノデアリマス、斯様ナ實情ニ鑑ミ現行自動車交通事業法ヲ一部改正シテ、自動車運送事業ノ健全ナル發達ニ寄與シタイト考ヘマシテ、本改正法律案ヲ提出シタ次第デアリマス

今本改正法律案要項ノ一、二ニ付テ申上ゲテ見マス、第一ニ業態區分ノ改正デアリマシテ、現行法ニ於キマシテハ自動車運輸事業ト自動車運輸事業以外ノ自動車ニ依ル運送事業トニ區分シテ居ルノデアリマスガ、此ノ區分ハ貨物運送事業ニハ適當セズ實情ニ合ハナイモノガアリマス、貨物運送事業ハ之ヲ貨物自動車運送事業ナル一個ノ業態ト致シタノデアリマス

第二ハ新ニ自動車運送事業組合ノ制度ヲ設ケマシテ、此ノ組合ニ依ツテ組合員ノ共同ノ利益増進ヲ圖ラシメ、或ハ運賃ヲ輸送

ノ統制ヲ行ハシメテ事業ノ健全ナル發達ヲ圖リタイト存ズルノデアリマス、尙ホ此ノ組合ノ使命ニ鑑ミマシテ政府ハ之ニ補助金ヲ交付シ得ルコトトシタノデアリマス

第三ニハ自動車交通事業抵當ニ付テデアリマスガ、近年自動車運送事業ガ企業トシテ漸次發達シテ參リマシタ結果、之ニ對スル金融ヲ便ナラシムル必要ガアリマスノデ、現在自動車運送事業ニ付テノミ認メラレテ居ル自動車交通事業抵當ノ制度ヲ擴張致シ、自動車運送事業ノ全般ニ付テ之ヲ認メルコトトシタノデアリマス

第四ニ貨物自動車運送事業ニ對スル補助デアリマスガ、産業上及ビ國防上ノ見地カラ致シマシテ運送事業者ガ良質ナ貨物自動車ヲ相當多數持ツテ居ルコトガ是非必要デアルト考ヘマスノデ、貨物自動車運送事業者ノ車輛ノ整備ヲ圖ル爲ニ之ニ對シマシテ補助金ヲ交付シ得ルコトトシタノデアリマス

以上申上ゲマシタル事項ノ外、現行法ノ不備トスル諸點ニ付改正スルコトト致シタノデアリマス、本案ニ付キマシテハ事業者ノ間ニ於キマシテモ相當熱望シテ居ル趣モ見ユルノデアリマスカラ、是等ノ事情ヲモ御諒察下サイマシテ、何卒御審議ノ上御協賛アラントラ希望致ス次第デアリマス

○名川委員長 ソレデハ先ヅ金華山鐵道及ビ朝倉軌道ノ補償ニ付キマシテ審議ヲ進メタイト思ヒマスガ、質疑ガアリマスカ——伊東君

○伊東委員 今日ハ質問ハ保留致シマシテ參考資料ダケ要求致シテ置キマス、一、各府縣別自動車臺數調デアリマス、是ハ「バス」「ハイヤー」「タクシー」「トラック」別、一、各

府縣別木炭瓦斯發生器設備自動車臺數調デアリマス、三、各府縣別自動車別一臺當リ「ガソリン」配給量調、四、各府縣別自動車營業形態調、即チ株式會社、商業組合、任意組合、個人經營ト云フヤウナ所謂營業形態ノ御示シテ願ヒタイノデアリマス、以上參考資料ダケヲ要求シテ置キマス

○鈴木政府委員 只今ノ御要求ノ中ニハ軍機ニ互ルモノガアリマスノデ、差上ゲラレ兼ネルノガアルカモ知レマセマス、其ノ許ス範圍ニ於テ差上ゲタイト思ヒマス

○伊東委員 何デゴザイマセウカ

○鈴木政府委員 車輛數ト云フヤウナモノハ一寸差上兼ネルト思ヒマス、ソレカラ配給量モチヨツト難カシイカモ知レマセマス、調ハ實際私ノ方デ持ツテ居ルノデスガ、一寸御見セ致シ兼ネルノデアリマス、中々今喧マシウゴザイマスカラ、併シアトデ私ノ係ノ者ト相談シマシテ差支ナイ範圍ニ於テ出來ルダケ差上ゲタイト思ヒマス

○伊東委員 モウニツ要求シテ置キマス、附屬命令案要綱、ソレカラモウツハ各種業態別ニ依ル自動車事業者調、數及ビ投下資本額、以上デアリマス

○小平委員 資料ヲ御願致シマス、全國ノ省營「バス」各路線別ノ收支決算表竝ニ各路線ニ於テ使用シツツアル所ノ自動車ノ車輛、ソレカラ各路線ニ於テ使用シテ居ル「ガソリン」ノ使用數量竝ニ木炭其ノ他ノ代用燃料ヲ使ツテ居ル所ガアリマシタナラバ其ノ使用數量、以上ヲ要求致シマス

○名川委員長 ソレデハ山田君、自動車交通事業法ニ付テノ質問ヲ始メテ下サイ
○山田(清)委員 色々質問ヲシタイノデスケレドモ、第一ニ緊急ナ問題カラ質問シマシ

テ、ソレカラ關聯質問ヲヤツテ見タイト思ヒマス、只今鐵道大臣カラ此ノ法案ノ御趣旨ヲ承リマシタガ、要スルニ自動車業全體ヲ國策ニ順應シタ機能ヲ十分發揮セシメタイ、現状ノ儘デハ色々阻害サレル點モアルカラ、此ノ際各方面カラ檢討シテヤリタイト云フコトデアリマス、洵ニ全體的ノ提案

ノ内容ヲ見マスト大變結構ナ案ダ、私ハ斯ウ云フ風ニ實ハ喜ンデ居ル次第デアリマス、所ガ其ノ實際ニ入ツテ見マスト中々サウ簡單ニ行カナイデヤナイカ、私ハ斯ウ思フノデス、茲デ蛇足ヲ添ヘテ大變恐縮デアリマス

スケレドモ、斯ウ云フ機會デナイトオ忙シイ鐵道大臣ニハ中々頭ヘハツキリオ入りニナラスト思ヒマスカラ、一應客觀的ニ自動車業界ノ情勢等モ私見ヲ加ヘナガラ申上ゲテ質問ヲシテ見タイ、斯ウ思ヒマス、大體此ノ法案ヲ出シニナツテ統制シテ行カウト云フ狙ヒ所ノ區域ハ何處ニアルカ、是カラ一寸質問シテ見タイト思フ、私ハ第一ニ陸上交通事業法ノ狙ヒ所モ大東京ニアツタノデカラ、此ノ狙ヒ所モ大體大東京ニアル

ノデヤナイカ、斯ウ思フノデス、何處ニアルカ、或ハ六大都市ニアルノカ、日本全體ニアルノカ、ソコカラ一ツ承ツテ見タイト思フ、是ハ細カイトデアリマスカラ一々大臣ガ御答辯ナラヌデモ、大臣ニ御答辯願ヒタイ所ハ特ニ私ハ「ポイント」ヲ言ヒマスカラ、鈴木局長サンナリ小野サンナリ川合サンナリ然ルベキ方デ宜シウゴザイマス

○鈴木政府委員 今御質問ノ自動車運送事業組合設置ノ趣旨ニ付テノ御尋デアリマスガ、第一「ポイント」ハ成べく多クノ自治的ニ自動車運送事業組合ガ出來ルコトヲ望ン

デ居ルノデアリマス、サウシテ共同ノ利益ヲ増進シ、或ハ自治的ニ運貨運輸ノ統制ガ行ハレテ行クコトヲ望ムノデアリマス、併シナガラ六大都市及ビ之ニ準ズル都市ヲ持ツテ居ル府縣ニ於テハ、只今ノ所市ヲ單位トスルカ、或ハ府縣ヲ以テ單位トスルカハモウ少シ研究シテ見タイト思ヒマスガ、サウ云フ場所ニ於キマシテハ成べく市又ハ府縣單位ノ組合ノ設置セラレルコトヲ吾々ハ希望シ又考ヘテ居リマス、併シナガラサウ云フ場合ニ於テモ自治的商業組合ヲ全然排除スル意思ハナイノデアリマスガ、サウ云フ組合ガ設置セラレマシテ、殊ニ輸送及ビ運賃ニ於ケル統制事務ガ實行サレルコトヲ望ムノデアリマス、併シナガラサウ云フ組合ヲ設置スルニ至リマスニ付テハ、能ク事業ニ關係シテ居ラレル方及ビ今マデノ組合ニ關係シテ居ル方、或ハ商業組合以外ニ於テ團體ヲ作ツテ居ラレル方、是等ノ意見ヲ十分聞イテ、其ノ府縣單位或ハ市單位ノ事務ガ完全ニ行ハレルヤウニ導イテ行キタイト考ヘテ居リマス

○山田委員 私ハ今鈴木サンノ答辯ニ大變満足スル者デアリマスガ、一面斯ウ云フ議論ガアルノデス、是ハ議論ニ互ルノデスガ、一應參考ノ爲ニ申上ゲテ見タイ、貨物自動車ト云フモノハ——是ハ私ノ意見デヤアリマセス、所謂家庭工業ノ延長見タイナモノデアアル、ソレデ家内モ働ケバ親父モ時ニ自分デ運轉スル、俾モ之ニ入ツテ荷物ノ出シ入レノ手傳ヒモスル、サウ云フ精神的ノ協力ト其ノ業ニ對スル苦勞ノ結晶、努力ノ結晶ガ集ツテ、其ノ綜合ノ力デドウニカ斯ウニカ商賣ヲヤツテ行ク、デアルカラシテ綜合統制ヲ以テ合理的ニ團體的ニ仕事ヲ

スルニ付テハ、是ハ自ラ議論ガアル、其ノ限度ト云フモノガアル、例ヘバ十臺ヲ限度トスル場合、或ハ二十臺ヲ限度トスル場合、三十臺ヲ限度トスル場合モアリマスケレドモ、ベラ棒ニ大キク固マツテ大資本デ會社ヲ作ツテヤルト云フコトハ、是ハ實際ハ收支計算ガ價ハナイノダト云フ議論ガ五臺持チ、三臺持ツ、所謂弱小業者ノ是ハ聲ナノデアリマス、其ノ議論ノ當否ハ別問題トシテ、其ノ蔭ニアル一ツノ感情ト云フモノハ是ハ政治家トシテハ酌ンデヤラナケレバナラヌト思フノデス、ト云フノハ統制シテ行クガ、其ノ統制ノ上ニ乗ツカツテ來ルモノハ日本通運ノ例ヲ見テモドウモ鐵道省デ長イコトヤツテ居ツタ偉イ人ガ辭メタ、其ノ官吏ガ來テ先ヅ之ヲ統制スル、ソレカラ其ノ上ニ乗ツカル者、手足トナル所ノ大幹部ト云フモノハヤハリ鐵道省ト特殊ノ關係ニアル業者ノモノガ其ノ上ヘ來テダツト抑ヘル、サウシテ其ノ中ヘ入ツテ行ツタ所ノ所謂三臺持チ、二臺持チト云フヤウナ政治的手腕ノナイ、又言論ノ立タナイ者ハ所謂一將功成ク萬骨枯ルト云フヤウナ實情ニナル、斯ウ云フ風ニナルデヤナイカト云フコトヲ惧レル一ツノ感情モソコヘ手傳フノデス、サウシテ其ノ結果ガ今ノヤウナ家庭工業ノモノデアルカラ多ク統制ヲスル、多數ノ車輛ヲ統制シテ行ツテヤルト云フ政府ノ方針ハ間違ッテ居ルノダ、斯ウ云フ議論ガアルノデアリマスガ、之ニ對シテイオ前等ハサウ云フコトヲ心配スル必要ハナイゾ、實ハ此ノ統制ニ依ツテ斯ウ云フ利益ガアルノダト云フハツキリシタ其ノ利益ノ點ヲ比較對照シテ、極メテ簡單デモ宜イノデスケレドモ、彼等ガ一ツノ大キナ

流レニ從ツテ、滔々トシテ此ノ國策ニ順應スルヤウナ態勢ヲ作ル爲ニ疑フ解イテヤルト云フコトハ、斯ウ云フ委員會ヲ通ジテ私ハ極メテ必要デアルト考ヘルノデアリマス、私ノ議論デナクシテ坊間ニサウ云フ業者ノ議論ガ澤山アリマス、是ハ一面考ヘテ見マスト成程純理ガ澤山入ツテ居リマス、ソレガ唯此ノ運用ニ當ツテ、私ハ松野大臣ヲ信ジテ居リマスカラ、アナタガオヤリニナツテ、スツカリ拵ヘ上ゲテ適當ナ機會ニ大臣ヲ御辭メニナル、ソレハ宜イノデアリマスケレドモ、途中デ宜イ加減ノ時ニ辭メラレト云フノデアレバ——政治ノ運用ハヤハリ人ニアリマス、法律其ノモノモ無論必要デアリマスケレドモ、法ト云フモノハ嚴トシテアルノデアリマシテ、其ノ運用ノ如何ハ人ニアルノデアリマスカラ、私共ガ此處デ審議スル上ニ於テ所謂大臣ヲ全ク信ズルト云フコトガ第一デアルカラ、其ノ點ニ於テ十分私ハ此處デ議論シテ大臣ノ諒解ノ行クヤウニ喋リナガラ、且又現在列席ノ政府委員モ私ハ悉ク信用シテ居ル人バカリデアリマスガ、其ノ方々モ何時何處ヘ榮轉サレルノカモ分ラヌノデアリマスカラ、ソコデ斯ウ云フ機會ニ委員會ヲ通ジテ國民ニ安心ヲ與ヘテ戴キタイノデ、一ツ御答辯アラント願ヒマス

トスルノガ自動車運送事業組合ノ目的トスル所デアリマス、其ノ中デ只今申サレマシタ言葉ニ一番接近シテ居ルモノハ組合ノ勢力デヤナイカト思ヒマス、組合ノ勢力ガ、仰シヤラレル通りニ、或ハ官憲ノ力ガ餘リ強過ギタリ何カスルコトハ吾々トシテモ面白クナイト思ヒマスルカラ、出來得ルダケ業者ノ自治的統制ニ依ツテ行ハレルコトニ導キタイト思ツテ居リマス、又是ガ商業者ノ保護ニコソナレ、決シテ壓迫ニナルモノデナイト考ヘ、又大キナ資本家ト商業者トノ利害關係ノ違フ點ニ於キマシテハ、出來得ルダケ組合ヲ通シテ圓滿ニサセタイト思ツテ居リマス

次ハ申サレマシタ所ノ資本金合同ノ問題デアリマス、鐵道省ト致シマシテハ現在「ガソリン」消費規正ガ非常ニ強化サレテ居リマス、隨テ最モ少イ「ガソリン」デ以テヤル爲ニハ、實際一人一輛持チノ業者ハオ氣ノ毒ダト思ツテ居ル位少イノデアリマスカラ、サウ云フ業者ガ少シヅツ集マルト云フコト、サウシテ少シデモ貨物業者ノ水準ガ高マルト云フコトハ望マシイコトダト思ツテ居リマス、併シナガラ吾々トシテハソレヲ強制スルヤウナ意思ハ毛頭ナイノデアリマス、唯此ノ頃商業者ノ所謂合同ノ外ニ、大キナ貨物自動車ノ會社ガ二出來マシタノデ、多分其ノ點ニ對スル御懸念モアルヤウニ見受けラルルノデアリマスルガ、是ハ時代ニ應ジマシテ貨物自動車ノ輸送力ヲ強化スル爲ニ、自發的ニ出來タ組合デアリマス、尤モ其ノ爲ニ日本通運デ投資シタモノガ一ツアリマスルガ、ソレハ小運送ノ所謂輸送能力ヲ擴張スル意味カラシテ投資シタダケデアリマシテ、日本通運ガ貨物自動車ヲ自動

車會社デ經營サセテ居ルヤウナ譯デアリマス、サウ云フ譯デ吾々ノ方トシテハ今ノ業者ガ水準ノ高マツテ行クコトハ非常ニ望マシイコトデアアル、ソレガ國內ニ良質ノ車ヲ持ツ所以デアリ、又多量持タセル所以ダト考ヘテ居リマス併シナガラソレモ無理失理ニ合併サセタリ許可スルヤウナコトハナイノデ、唯弊害ノ非常ニ甚シイトカ、或ハ互々ガ集マル機運デアリナガラ、ドウモ今マデノ行懸リカラ一寸言出シニクイト云フヤウナ場合ニハ、コチラニ御相談下サレバ、府縣ヲ通シテ又相談スルヤウナコトモアリマスルガ、鐵道省其ノモノトシテハ強制的ニ合同ヲ強要シテ居ルコトハナイノデアリマス

○山田(清)委員 續イテ、此ノ統制ニ付テ一昨日日本會議デ大臣ニ御伺致シタノデスガ、ソレハ商業組合ヲ主トシテ第一ニ優先的ニ考ヘル、他ノ問題ニ付テハ能ク一ツ自治的ニ相談シテ考ヘテ見ル、決シテ官僚獨善ニ陥ルノデハナイ、斯ウ云フ御話デアリマシタ、所ガ私茲ニ一ツノ疑問ヲ持ツコトガアリマス、ソレハ私バカリデナク業者ノ大多數ガ疑問ヲ持ツテ居ルコトナンドスガ、私モ大都市ニ於テ商業組合ヲ面倒ヲ見テ作ツテヤリマシタ、「タクシ」商業組合ノ如キ殆ド私半年ノ間奮闘努力シテ五千三百數十臺ノ「タクシ」商業組合ヲ作ツタ一人デアリマス、ソレデ或ハ其ノ目的トスル所ハ、第一ニ團體的ニ一ツ物ヲ共同的ニ買ハウ、サウシテ安ク買ハウ、ソレカラ新シイ車ナシカラ入レル場合ニハ低利資金ヲ一ツ融通シテ、今マデ千圓位ノ枕金ヲ出シテ、サウシテ月々二百圓以上ノ拂ツシテ月賦デ拂ツテヤツタヤウナコトハ氣ノ毒ダラカ、マア成ベク政府ノ力、團體ノ力デ安イ融通資金

ヲ極メテ簡單ニ借りテヤツテヤラウ、「ガソリン」ノ共同購入、或ハ「タイヤ」ノ共同購入、都合ニ依ツテハ部分品ノ修理工場マデモ作ツテヤラウ結局マアソコノ狙ヒ所ハ小サイ一人一臺持ち位ノ連中ガ集ツテ、團體ノ力デ共同ノ利益ノ爲ニヤラウトシテアレハ集ツタモノナンドス、隨テ株金モ拂ツテ居ルノデス、商工省ハベラ棒ニ此ノ問題ノ爲ニ踏張ツテ一ニモ商業組合、二ニモ商業組合ト云フ風ニヤツテ居ル譯ナンドス、所ガ今度ハ新シイ法律案ガ出來テ、ソレハ一ツノ統制ノ土臺ニシテヤラウ、目標ハソコニアル、斯ウ云フコトニナリマスト、商業組合設立ノ根方針ト云フモノハ、全然トハ申シマセヌケレドモ大部分ハ消エテ行ク譯デス、商業組合設立ノ本旨ガソコニアツテ、一株幾ラト云フ金マデ出シテヤツテ居ルモノヲ其ノ儘認メル認ナイト云フコトガ、政治上ニ於テ異議ガアルノデハナイカト云フ説ガ相當アルノデス、私個人ノ意見ハヤハリ鐵道省ノ御指示ノ如ク、出來テ居ル折角ノ組合ヲ此ノ儘ヤハリ百「パーセント」ノ有效價值ニ善用シテ、現在ノ實情ニ即應シタ業者全體ノ利益ヲ擁護スル方法ヲ講ズルコトガ機宜ニ適シタ方法デアルト贊意ヲ表スル譯デアリマスケレドモ、尙ホ多數ノ業者ノ中ニハ前段申上グルヤウナ然ラザル意見ガアリマスガ、之ニ對シテドウ云フ御考ヲ持ツテ居ルノデアリマセウカ、商業組合設立ノ趣旨トハ全然違フト云フ議論ガアル、組合員ハ一人一臺シカ持ツテ居ナイヤウナ極メテ弱小業者ガ殆ド大多數デ、五千三百幾ラノ中ニ五千人ハ一人一臺持ちデセウ、ソレガ一口幾ラト云フ金ヲ出シテ居ルノデアリマスガ、之ニ對シテドウ

云フ御考ヲ持ツテ居ルカ、伺ヒタイ
○鈴木政府委員 此ノ改正法律ノ規則ニ於テ、現在ニ於ケル商業組合ハ其ノ儘今度ノ自動車運送事業組合トナルノデアリマスカラ、現在東京ニアリマス所ノ「タクシー」商業組合ハ本法ニ依ル「タクシー」ノ自動車運送事業組合トナルノデアリマス、是ハ從來法ニ存在ヲ認メラレテ居リマシタ所ノモノヲ認メルコトガ至當ダト思ツテ、其ノ儘認メテ居ルノデアリマス、併シナガラ今山田サンノ御話ニナリマシタ所ノモノハ、現在アリマス共同ノ施設ヲスル所ニ重點ヲ置ク商業組合デナクテ、東京市ニ於キマ「タクシー」ノ運賃或ハ輸送ノ統制ヲ圖ル組合ヲ其ノ商業組合デ其ノ儘認メルノハドウカト云フ御懸念ダト思ヒマスガ、東京市ノ全體ノサウ云フモノノ統制ヲ主トシタル所ノ自動車運送事業組合ヲ設立スル場合ニ於テハ、先程申シマシタ如ク、出來テ居リマス「タクシー」商業組合ニ對シ、内容ヲ能ク檢討シ、又其ノ他ノ業者ノ意見モ十分聽イテ、サウシテ適當ニ指導シテ行キタイト思ヒマス、サウスルコトガ一番圓滿ニ「タクシー」ノ統制ガ執レルモノダト私ハ考ヘテ居リマス
○山田(清)委員 大變良イコトヲ拜聽シマシタ、詰リ東京ニ於ケル統制ト云フコトノ付テハ商業組合ヲ先ヅ中心トシテヤルガ、其ノ他ノ組合ニ付テモ十分考ヘテ摩擦ノナイヤウニ自治的ニ統制スル、ソコデ私ハ大臣ニ一ツ東京ニ於ケル自動車業界ノ概念ダケヲ植エテ置キタイト思フ、前段申上ゲマス通り、東京ニハ自動車業組合ノ警察別團體、或ハ區ノ團體等ガ相集ツテ四十七組合アリマス、之ヲ段々集メタモノガ東京自動車業

聯合會ナノデス、其ノ中カラ出來上ツタノ「トラック」商業組合デアリ又「タクシー」商業組合デアアル、東京自動車業聯合會ト云フモノハ二十數年ノ歴史ヲ持ツテ居リマス、サウシテ幾度カ喧嘩ヲシ、幾度カ集リ、幾度カ分裂ヲシテ、相剋摩擦ト云フモノハ實ニ從來激シカウツ、私微力デアリマシタガ、實ハ四五年前ヨリ是ガ統制ヲ圖リマシテ、喧嘩ヲシテ居ツテハイカス、オ前等皆業全體ノ利益ノ爲ニ集レト云フコトデ、二ツ三ツニ分裂シテ居ツタモノヲ集メマシテ、サウシテ現在ノ東京自動車業聯合會トナリマシタ、所ガ時代ノ趨勢ニ依ツテ、是ハドウシテモ一面ニ於テハ企業合同ヲスル必要ガアル、企業合同ニ依ツテ弱小業者ガ集ツテ、資本家ニ喰ハレナイヤウニヤラウト云フコトデ、隨所ニ最近企業合同ト云フモノガ出來タ、或ハ作業合同ト云フモノモ宜イノデハナイカト云フコトデ、作業ダケ一ツ合同ショウト云フ動キモアル、其ノ事前ニ於テ一番必要ナモノハ何カト云フト、商業組合ヲ作ルノガ宜イト云フコトデ、「タクシー」商業組合及ビ「トラック」商業組合ガ出來タ、所ガ「トラック」商業組合ニ參加シタモノハ、初メ東京自動車聯合會ト云フモノト感情的ニ非常ニ仲ガ良クナカウツノデ、相當摩擦ガアツタ、ソレデ俺ノ方デ一黨ヲ作ルト云フコトデ始メタ、併シ其ノ氣運ガ十分熱シテ居ラナカウツ、之ニ入ツテ居ルノハ、東京ニアル「トラック」臺數——正確ニハ分リマセヌガ殆ド五分ノ一弱デハナイカト思ヒマス、アトノ大多數ノ實際業者ハ現在東京自動車業聯合會ノ中ニ入ツテ居ル、デアリマスカラ東京自動車業聯合會ノ幹部ハ即今「トラック」、「タクシー」商業

組合ノ幹部ニナツテ居ル、若シ「トラック」商業組合ト云フモノノミヲ重點ニ置イテ、今後ノ法ノ運行ヲヤラウト云フコトデアレバ、ソレハ法的組合デハナイケレドモ、力ハウントアル、ソレガ行ツテ壓迫スルト、茲ニ非常ニ摩擦ガ出來テ、「トラック」ノ貨物商業組合ト力ナルモノトガ喧嘩ヲ始メテ、法ノ運用ニ當ツテ却テ一元的ニ統制ショウト云フコトニナツテ、サウシテ業者ノ利益、國策ニ順應ショウト云フ其ノ狙ヒ所ト反對ノ現象ヲ呈スルコトニナル、是ハ私ハ自分ト云フモノヲ離レテ論ジテ居リマス、私ノ氣持ハ解ク局長モ課長モ承知シテ居テ下サルト思ヒマス、ソレカラ「タクシー」組合ハ半年掛ツテ其ノ邊ニ一臺ヅツ飛ンデ居ルノヲ——アノ當時ハ殆ド住所不定ノヤウナ者モアリ、アノ中デ寢テ其ノ儘運轉シテ居ツタト云フヤウナ連中ヲ漸ク五千數百臺集メタノデアリマスケレドモ、尙ホ半分以上アノ組合ノ中ニ入ツテ居ラス、ソレガヤハリ東京自動車業聯合會ノ中デ一大王國ヲ作ツテ居ル、ソレカラ「ハイヤ」業者モ入ツテ居ル、「バス」ノ組合モ之ニ入ツテ居ル、ソコデ昨ハ東京府開イタノデアリマスガ、此ノ組合ハ東京府ノ公認組合トナツテ鐵道省ノ方モ態、才出デ下スツタノデアリマスガ、只今局長ノ仰シヤツタ如クニ業者ニ付テモ十分考慮サレル、斯ウ云フ御話デアツタノデアリマスガ、東京ニハ他ノ業者ノ勢力團體ト云フモノハ唯ソコガ一ツデス、サウシテ、東京ノ團體、茨城縣、千葉、各方面ノ團體ノ組合ガ全部集ツテ全國自動車業聯合會ガ出來テ居ル、私ハ其ノ會長ニナツテ居ル、斯ウ云フ狀態デアリマシテ、是ハ全國カラ約四十數府縣、

朝鮮マデ全部入ツテ居ル、斯ウ云フ一ツノ
嚴トシテ存シテ居ル團體ヲハリ認メテ行
ツテ、ソコニ話合ヒニ依ツテ、御互ニ國事
ヲ思ヒ、業者全體ノ將來ノ利益ヲ思フト云
フコトハ當然デアリマスカラ、是ハ話合ヘ
バ出來ルノデアリマス、此ノ點ヲ深く考ヘ
テ貫ツテ、適當ニ運行ヲシナケレバ、此ノ
法ノ實現ニ當ツテハ却テ逆ノ效果ヲ生ズル
虞ヲ持ツバカリデナク、確ニサウナルノデ
ス、私ハソレヲ確言シマス、デアリマスカ
ラ、是ハ大臣カラ答辯ヲ願ヒタイノデアリ
マスガ、其ノ點ニ付テ、東京自動車業聯合
會ノ如キ嚴トシテ勢力ヲ持ツテ居ル組合ニ
對シテ、之ヲドウ運用シテ行クカ、今ノ商
業組合ノ中ニ併合シテ來イト云ツタツテ、
ソレハ朝鮮ノ中ニ日本ヲ合併スルカラ入ッ
テ來イト云フノト同ジヤウナコトデス、ソ
シナコトハ天下ノ輿論ガ許サス、小平君モ
此ノ間ノ事情ハ能ク知ツテ居リマスガ、是
ハ商工省ガ生シテ居ルレタノデ、ソレニ對ス
ル仁義ト云ヒマスカ、義理合ヒト云ヒマス
カ、ソレヲ尊重スル餘リニ、劃期的ナ此ノ
仕事ヲヤラウト欲スル際ニ、仁義ヲ尊重ス
ル餘リニ大局ヲ忘レテシマツタノデハ、佛
ヲ作ツテ魂ヲ入レザルコトニナツテ、是ハ
却テ千波萬波ノ波瀾ヲ起シテ來ルモノデア
ルカラ、是ハ大臣ガ山田清ハ嘘ツカヌ男
ダト云フコトヲ御思ヒニナルナラバ、先般
モ本會議上デ腹ヲ割ツテ話ヲシテ呉レト申
シマシタガ、男同士ノ腹デ、一ツ業者ヲ旨
クヤツテ行カウトスルナラバ、嘘デナイ話
ヲ此處デ御答辯願ヘレバ、私ハ他ノ問題ニ
付テハ餘リ枝葉末節デ議論ノ餘地ハナイト
思ヒマス

シマスガ、政府委員カラモ屢、御答辯申上
ダマシタヤウニ、要スルニ業者ヲ壓迫スル
トカ、或ハ統制ニ依ツテ業者ノ仕事ヲ或一
ツノ權力者ガ之ヲ握ツテシマフトカ、斯ウ
云フ趣意ニ於テ此ノ立法ガ出來タモノデナ
イト云フコトハ御承知ノ通りデアリマス、
段々此ノ事業ノ發達ニ伴ツテ之ヲ助長シテ
行キタイ、斯ウ云フ趣意ニ於テ此ノ法律改
正案ヲ出シタヤウナ意味デアリマス、ソコ
デ、既存ノ組合ハ十分ニ尊重スル、ソレカ
ラ商工省ノ權限デアツタ所ノ商業組合法ニ
依ツテ認可シタモノモ、商工省ガ今回鐵道
省ノ此ノ法案ニ統一スルコトヲ快ク諒解シ
タコトハ、益、此ノ業ノ發達ガ國家産業
ノ上ニ必要ダ、其ノ意味カラスレバ、ヤハ
リ運送業ヲ監督指導スルニハ鐵道省ガ一番
宜シイ、其ノ意味ニ於テ商工省モ諒解シテ、
此ノ既存ノ組合ハ其ノ儘鐵道省ノ方ニ之ヲ
統一スル、斯ウ云フコトニシタヤウナ意味
デアリマス、鐵道省ノ監督カラ申シマシテ
モ、之ヲ助長スルコトガ目的デアリマスカ
ラ、既存ノ商業組合ハ十分ニ尊重スル、商
業組合ノ既存事實ハ十分ニ尊重シテ、サウ
シテ組合團體其ノ他ニ於テ、御説ノ如クニ
摩擦ヲ生ズルヤウナコトハ、業界ノ健全ナ
ル發達ニ不適當デアリマスカラ、業界ノ健
全ナル發達ヲ助長シテ、サウシテ此ノ重要
ナ事業ガ國家ニ對シテ貢獻スベキヤウニ指
導シテ行ク、斯ウ云フ趣意デアリマスカラ、
山田君ノ言ハレマスヤウナ意味ニ於キマシ
テ、十分ニ總テノ業者ト圓滿ニオ互ニ連絡
ヲシテ、サウシテ其ノ趣意ヲ十分ニ理解セ
シメテ、オ互ニ理解シ合ツテ協力スルヤウ
ニ鐵道省デハ指導シ、而シテ此ノ業ヲ助長ス
ルヤウニ監督スル、斯ウ云フ趣意デアリマ

スカラ其ノ意味ニ於テ御諒解ヲ願ヒマス
○山田(清)委員 私ハ大變御親切ナ答辯デ
満足スルノデアリマスガ、ドウカ其ノ御答
辯ヲ嘘ツカナイヤウニシテ貫ヒタイノデ
ス、實ハ昨年ノ陸上交通調整法ノ審議ノ時
ニモ色々聴イタノデアリマスガ、實際運行ニ
當ツテハマア私等ハ喧嘩ヲセナケレバナラ
ナイヤウナ事柄ニ立至ツタコトヲ遺憾トシ
テ居リマス、ソレデヤハリ政治家ハ嘘ヲツ
グト云フコトハ一番イカスト思ヒマス、殊
ニ政府ハ嘘ヲツクト云フコトハ一番イカス
ト思ヒマス、デアリマスカラ、斯ウ云フ席
上デ述ベラレタコトハ嘘ヲツカスト私ハ信
ジマス、政府ニ於カレテモ、其ノ答辯ヲ一
ツ、三幹部ト申シマスカ、局長及ビ第一第
二課長ガ十分大臣ノ意思ヲ體シテ將來進
マレンコトヲ望ミマス
○鈴木政府委員 今山田サンカラ陸上交通
調整法ノ時ニ云々ノ言葉ヲ言ハレマシタガ、
吾々ハサウ云フヤウナ自分ノ申上ガ意見
ト背馳シタ行爲ヲシタコトハナイト思ヒマ
スシ、今日山田サンノ御質問ノアリマシタ
コトニ對シテノ政府トシテノ答辯ハ、勿論
確實ニ實行スル積リデアリマス
○山田(清)委員 ソレデ安心致シマシタ、
就キマシテハ——是ハ關聯質問デアリマス
ガ、相當長クナリマスガ、委員長、今日何
時頃マデ繼續スルノデアリマセウカ
○名川委員長 今日ハ午前中ダケデス
○山田(清)委員 二三時間ハドウシテモ頂
戴シタイト思ヒマスガ……
○名川委員長 マアヤレルダケヤツテ戴キ
マセウ
○山田(清)委員 此ノ提案ノ趣旨ガ、自動
車業ト云フモノガ、國防ノ點カラ見テモ、

産業ノ點カラ見テモ、實ニ國家トシテ重要
ナル、デアルカラドウシテモ國家ノ爲ニ
此ノ自動車業其ノモノノ仕事ヲ十二分ニ伸
バシテヤラウ、斯ウ云フ趣旨デ此ノ法ノ提
案ガアツタ、現ニ本會議ノ席上ニ於テ小申
君ガ例ヲ引カレテ言ウテ居ルコトノ中ニ、
米ノ配給ガドウモ十分デナカッタ、炭ト云
フヤウナ國民生活ノ必需品ノ配給ガ十分デ
ナカッタト云フ原因ハ澤山アルケレドモ、
就中其ノ大ナル原因ハ、貨物ノ運行ガ圓滑
ニ行カナカッタ、是ガ其ノ障礙ノ大ナル原
因デアツタノダト云フコトヲ痛歎サレテ議
論ヲサレタ、貨物ノ運行ヲ十分ニスルカシ
ナイカト云フコトハ、國內ノ産業ノ開發並
ニ其ノ他食糧資源、國民生活ノ諸般ノ問題
ニ付テ是ハ重要デアルコトハ申スマデモナ
イノデアリマス、併シ政府ノ實際ノ自動車
業ヲ見ル限ト云フモノハ、其ノ實際ニ即應
シナイコトガ澤山アリマス、私ハ本會議ノ
席上ニ於テハ之ヲ三ツノ部門ニ分ケテ壓縮
シテ大臣ノ御答辯ヲ願フタノデアリマス、
併シアア云フ席上デアリマスカラ、細カイ
點ニハ一言モ觸レテ居リマセスデシタ、ソ
コデ委員會ニ於テ、是カラ著々ト質問ヲシ
テ行キタイト思ヒマス、ト云フノハ實際自
動車業者ハ此ノ儘行ケバ死ンデシマフノ
デス、自動車業者ガ死ンデ全然商賣ガ出來
ナクナレバ是ハ産業ノ開發ヲ叫ンデモ、食
糧問題ヤ炭ノ配給ヲドウノ斯ウト言ツタ所
デ何モ出來ハシマセス、鐵道バカリアツテ
モ逆モ出來ハシマセス、ソレヲ知ラズシテ
爲替管理ノ關係ガドウダノ斯ウダノト云ツ
テ自動車業全體ノ運行ヲ障礙スルヤウナコ
トバカリヤツテ居ル、私ハ例ヲ擧ゲテ段々
申上ゲテ見マスガ、之ニ對シテ、是ハ國ノ

マスカラ、隨テ總テ物價ノ上カラ考ヘマシ
テモ、此ノ輸送運賃ガ高ケレバ此ノ低物價
政策ヲ如何ニ堅持シヨウトシテモ得ラレナ
イコトハ分リ切ツテ居ル、殊ニ現狀カラ考
ヘテ見ルト、如何ニ生産者ガ物ヲ造ツテモ
實際ハ輸送ニ行詰リヲ來シテ居ル、山田君
ノ御意見ノ通り、僅カ短距離ノ間持ツテ來
ル運賃ガ今日ハ非常ニ高イ、然ラバ之ヲ取
扱ツテ居ル所ノ運送業者ガ所謂暴利ヲ貪ツ
テ居ルカト云フト、決シテ運送業者ノ業態
ヲ調ベテ見マシテモ運送業者ガ暴利ヲ貪ツ
テハ居ナイ、高クナツタ原因結果ヲ見テミ
マス、有ユル點ニ於テ自然ニ高クナラザ
ルヲ得ナイ狀態ニアル、之ヲドウシテモオ
互ノ施設努力ニ依ツテ以前ノヤウナ安イ運
賃ヲ輸送スルコトガ出來ルヤウニスルコト
ガ、吾々運送業ヲ監督シテ居ル鐵道省トシ
テハ一番考ヘネバナラスコトデ、是ハ獨リ
鐵道省ノ監督行政ノ上デ考ヘタダケデハ目
的ヲ達スルコトハ出來ナイカラ、多年經驗
ノアル業者ニ鐵道ト共ニ協力シテ貰ハネバ
ナラス、即チ業者ノ理解ニ俟タナケレバナ
ラス、サウスルト、其ノ一ツノ方法トシテ、
山田君ノ指摘サレマシタ所ノ自動車ノ資材
燃料、是等ノ製造配給消費ヲ出來ル限り圓
滑ニシナケレバ、決シテ運賃ノ低廉ヲ望ム
コトハ出來ナイ、ソレダカラ働ケバ安イ運
賃ニスルコトモ出來ルケレドモ、働カント
シテモ或ハ「タイヤ」ガ缺乏スル、燃料ハ無
理ヲシテ集メテ見テモ一方ニ「タイヤ」ガ缺
乏シテ來ルト、結局ハ其ノ機械ノ運轉ハ出
來ナクナツテ來ル、隨テ運賃ハ圓滑ニ行カナ
イ、斯ウ云フコトハ總テ山田君ノ心配サレ
ルコト其ノ儘私等モ同ジニ考ヘマス、又ソ
レデ其ノ方法ヲドウスルカト云フコトニナ
ルト、即チココハ努力ヲシナケレバナラス、
又政府ハ政府ノ責任ニ於テ施設宜シキヲ得
ナケレバナラスコトデアリマスカラ、現狀
ハ政府委員ノ申シマシタヤウニ何トモ仕方
ガナイ現狀デアリマスケレドモ、仕方ガナ
イ現狀ニ甘ンズルコトノ出來ナイコトハ是
ハ政府ノ責任デアリマスカラ、ソコハ所謂
緩急宜シキヲ得ルト言フケレドモ、總テ急
ヲ要スル問題デアリマスカラ、ソコハ獻身
的ノ努力ニ依ツテ此ノ業態ニ對スル政府ノ
抱負ヲ完全ニ考ヘテ、サシウテ一ツ斯ウ云
フモノニ對シテモ出來得ル限り、所謂配給
宜シキヲ得ルト云フヤウナ生産方面ニ對シ
テハ、最善ノ研究ヲシテ之ニ對スル適切
ノ施設ヲ施シテ、サウシテ物價問題ニ對シ
テ、産業問題ニ對シテ出來得ル限りノ努力
ヲ致シタイト思ヒマス

○名川委員長 本日ハ此ノ程度デ散會致シ
マス

午後零時十分散會

第六類第十號 金華山軌道株式會社及朝倉軌道株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案委員會議錄 第二回 昭和十五年三月五日

昭和十五年三月五日印刷

昭和十五年三月六日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局